

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月13日
【四半期会計期間】	第45期第3四半期（自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日）
【会社名】	三協フロンテア株式会社
【英訳名】	SANKYO FRONTIER CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 長妻 貴嗣
【本店の所在の場所】	千葉県柏市新十余二5番地
【電話番号】	04(7133)6666(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 端山 秀人
【最寄りの連絡場所】	千葉県柏市新十余二5番地
【電話番号】	04(7133)6666(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 端山 秀人
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第44期 第3四半期連結 累計期間	第45期 第3四半期連結 累計期間	第44期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	17,746,005	19,123,051	24,095,305
経常利益(千円)	2,584,596	2,207,644	3,438,182
四半期(当期)純利益(千円)	1,550,211	1,259,942	2,069,905
四半期包括利益又は包括利益(千円)	1,548,305	1,309,656	2,100,419
純資産額(千円)	19,489,192	20,682,332	20,040,635
総資産額(千円)	38,419,039	46,056,239	40,300,647
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	69.45	56.67	92.82
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	50.73	44.91	49.70

回次	第44期 第3四半期連結 会計期間	第45期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額(円)	22.91	22.94

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、経済政策や堅調な米国経済の影響を受け景気は順調に回復しつつあり、消費者物価も徐々に上昇するなどデフレからの脱却も進みつつあります。一方で、円安による輸入資材の価格上昇やエネルギー価格の高騰によるコスト増加が、各種商品やサービスの価格に転嫁されるなど、影響が顕在化してきており、楽観視はできない状況となっております。

ユニットハウス業界におきましては、全国的に公共工事を含め建設着工高が増加するなど需要が高まっており、今後は、本格化し始めた東北地方における復興工事や、2020年に開催が決定した東京オリンピックに向けた各種工事の増加により、一層需要が高まることが期待されます。

このような情勢のなか、当社グループは工場を新設するなど生産設備を強化し、需要増加に対応できる体制を整えております。また、展示販売場やトランクルーム等の販売ネットワーク拡充についても、計画に沿って継続して取り組んでおります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間のユニットハウス事業の売上高は18,891百万円（前年同期比7.3%増）となりました。その他の事業につきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は231百万円（前年同期比58.0%増）となりました。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間売上高は19,123百万円（前年同期比7.8%増）となりました。

利益面におきましては、製造及び物流部門の原価低減を推進しましたが、店舗網拡大やレンタル資産投入などの積極的な投資による費用増加等が影響し、営業利益2,270百万円（前年同期比9.4%減）、経常利益2,207百万円（前年同期比14.6%減）、四半期純利益1,259百万円（前年同期比18.7%減）となりました。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

なお、当社では、法令及び社会規範の順守を前提として、効率的な資産運用及び利益重視の経営による業績の向上ならびに積極的な利益還元、経営の透明性確保、顧客をはじめあらゆるステークホルダーから信頼される経営体制の構築を推進し、中長期的かつ総合的に企業価値・株主価値の向上を目指しており、この方針を支持するものが「会社の財務及び事業の方針の決定を支配する者」であることが望ましいと考えています。

また、上記の方針に照らして不適切な者が当社支配権の獲得を表明した場合には、当該表明者や東京証券取引所その他の第三者（独立社外者）とも協議のうえ、上記の方針に沿い、株主の共同の利益を損なわず、役員の地位の維持を目的とするものでないという、3項目の要件を充足する必要かつ妥当な措置を講じるものとし、

#### (3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、127百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4) 主要な設備

新設、休止、大規模改修、除却、売却等について、当第3四半期連結累計期間において著しい変更はありません。

前連結会計年度末において計画中であった主要な設備のうち、つくば工場の新設については、平成25年8月に完了し、9月から操業を開始しております。

(5) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に対し5,755百万円増加し46,056百万円となりました。変動の大きかった主なものは、レンタル資産の増加4,434百万円、建物の増加1,446百万円などでありま

す。負債の合計額は、前連結会計年度末に対し5,113百万円増加し25,373百万円となりました。変動の大きかった主なものは、短期及び長期借入金の純増加額4,019百万円、仕入債務の増加1,323百万円などでありま

す。純資産の合計額は、前連結会計年度末に対し641百万円増加し20,682百万円となりました。自己資本比率は44.9%となっており、健全な財務状況を保っております。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	60,000,000
計	60,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	23,356,800	23,356,800	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は、1,000株であります。
計	23,356,800	23,356,800	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (千株)	発行済株式総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	23,356	-	1,545,450	-	2,698,150

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,124,000	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は、1,000株であります。
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,192,000	22,192	同上
単元未満株式	普通株式 40,800	-	同上
発行済株式総数	23,356,800	-	-
総株主の議決権	-	22,192	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数1個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
三協フロンテア株式会社	千葉県柏市新十倉二5	1,124,000	-	1,124,000	4.81
計	-	1,124,000	-	1,124,000	4.81

(注)当第3四半期会計期間末日現在の自己株式の数は、1,124,000株であります。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,325,300	2,775,100
受取手形	<sup>3</sup> 1,425,972	<sup>3</sup> 834,148
営業未収入金	3,076,499	3,252,127
売掛金	1,206,359	753,441
販売用不動産	17,964	17,964
商品及び製品	1,004,944	825,959
仕掛品	354,548	519,339
原材料及び貯蔵品	950,886	1,203,894
繰延税金資産	225,001	121,209
その他	534,400	346,766
貸倒引当金	33,177	21,861
流動資産合計	11,088,700	10,628,090
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産(純額)	15,245,885	19,680,458
建物(純額)	2,217,046	3,663,998
土地	9,260,888	9,269,128
建設仮勘定	398,778	67,775
その他(純額)	1,148,827	1,675,246
有形固定資産合計	28,271,426	34,356,607
無形固定資産	199,226	226,421
投資その他の資産	<sup>1</sup> 741,293	<sup>1</sup> 845,119
固定資産合計	29,211,946	35,428,148
資産合計	40,300,647	46,056,239
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	<sup>3</sup> 253,685	<sup>3</sup> 161,935
買掛金	4,828,469	6,012,431
短期借入金	5,758,000	5,257,996
未払金	87,491	195,051
未払費用	2,039,285	2,269,506
未払法人税等	782,645	257,722
賞与引当金	335,653	174,936
役員賞与引当金	2,500	-
その他	<sup>3</sup> 1,618,745	<sup>3</sup> 1,803,128
流動負債合計	15,706,476	16,132,708



	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	3,596,000	8,115,839
退職給付引当金	510,549	572,928
役員退職慰労引当金	178,341	184,029
環境対策引当金	15,569	9,633
資産除去債務	211,018	273,511
その他	42,056	85,257
固定負債合計	4,553,534	9,241,198
<b>負債合計</b>	<b>20,260,011</b>	<b>25,373,906</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,545,450	1,545,450
資本剰余金	2,776,663	2,776,663
利益剰余金	16,028,503	16,621,469
自己株式	307,703	308,687
株主資本合計	20,042,913	20,634,895
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	4,441	4,789
為替換算調整勘定	6,719	42,647
その他の包括利益累計額合計	2,277	47,436
<b>純資産合計</b>	<b>20,040,635</b>	<b>20,682,332</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>40,300,647</b>	<b>46,056,239</b>

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	17,746,005	19,123,051
売上原価	10,377,589	11,525,766
売上総利益	7,368,415	7,597,284
販売費及び一般管理費	4,862,180	5,327,179
営業利益	2,506,235	2,270,105
営業外収益		
スクラップ売却収入	19,701	29,103
保険解約返戻金	126,238	-
その他	17,100	27,736
営業外収益合計	163,040	56,839
営業外費用		
支払利息	52,541	82,975
支払手数料	21,293	20,309
その他	10,844	16,015
営業外費用合計	84,679	119,300
経常利益	2,584,596	2,207,644
特別利益		
新株予約権戻入益	5,980	-
特別利益合計	5,980	-
特別損失		
固定資産売却却損	20,541	6,974
特別損失合計	20,541	6,974
税金等調整前四半期純利益	2,570,034	2,200,670
法人税、住民税及び事業税	872,295	885,708
法人税等調整額	147,527	55,019
法人税等合計	1,019,822	940,728
少数株主損益調整前四半期純利益	1,550,211	1,259,942
四半期純利益	1,550,211	1,259,942

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,550,211	1,259,942
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	219	347
為替換算調整勘定	1,686	49,367
その他の包括利益合計	1,906	49,714
四半期包括利益	1,548,305	1,309,656
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,548,305	1,309,656

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
投資その他の資産	8,435千円	6,935千円

2. 手形債権流動化に伴う買戻義務

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
買戻義務	- 千円	574,603千円

3. 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。  
なお、当第3四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	90,810千円	1,236千円
支払手形	59,025	21,396
流動負債(その他)	35,847	14,737

4. 特定融資枠契約

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため、取引先金融機関(銀行6行)とリボルビング・クレジット・ファシリティ(貸出コミットメント)契約を締結しており、また取引先金融機関(銀行6行)とタームローン契約(分割実行可能期間付金銭消費貸借契約)を締結しております。

それぞれの契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
貸出コミットメントの総額	5,000,000千円	5,000,000千円
借入実行残高	4,200,000	4,100,000
差引額	800,000	900,000

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
タームローンの総額	2,000,000千円	- 千円
借入実行残高	2,000,000	-
差引額	-	-

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	2,449,252千円	3,103,597千円

## (株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

## 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年2月10日 取締役会	普通株式	364,053	16.25	平成24年3月31日	平成24年6月21日	利益剰余金
平成24年10月30日 取締役会	普通株式	333,514	15.00	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

## 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月13日 取締役会	普通株式	333,498	15.00	平成25年3月31日	平成25年6月20日	利益剰余金
平成25年10月25日 取締役会	普通株式	333,477	15.00	平成25年9月30日	平成25年12月9日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

当社グループはユニットハウス事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	69円45銭	56円67銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,550,211	1,259,942
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,550,211	1,259,942
普通株式の期中平均株式数(千株)	22,322	22,232

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

平成25年10月25日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額・・・・・・・・333,477千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・15円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・平成25年12月9日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月12日

三協フロンテア株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 海野 隆善 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 佐々木 浩一郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている三協フロンテア株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、三協フロンテア株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。